

しんせいき 新生紀 86号

CATHOLIC SOCIAL ACTION CENTER IN KOBE

発行：カトリック社会活動神戸センター

代表：山野 真実子

住所：〒650-0004 神戸市中央区中山手通1-28-7

電話：078-271-3248 FAX：078-271-3280

E-mail：sinapisk-sw@r5.dion.ne.jp

2020年6月2日 発行

山野 真実子

私たち活動センターのある神戸市は、しばらく前までの基幹産業と言えば大手鉄鋼メーカーによる製鉄や、京の着だおれ、浪花の食いだおれに続く“神戸の履きだおれ”と言われた地場産業としてのケミカルシューズ、また灘五郷の清酒などが主なものとしてそれなりに雇用を産み出し成り立っていました。けれども、大震災によって壊滅的な状態となり、25年を経た今も社会の変動と相まって昔の繁栄を取り戻すことは難しく、むしろ生き残るための変化を迫られ、業態を変えざるを得ない状況にあります。思い返せば、瓦礫の山と化した神戸の街はその頃から観光やファッション、医療産業にと方向転換を図っていたのでしょう。

四半世紀が経ち、生々しい震災の爪痕も見えにくくなりました。フラワーロードと呼ばれている山から海への一直線の幹線道路は美しく植栽がなされ、鉄道の玄関口である三宮駅辺りから市役所前は四季の花々で飾られ、観光客を出迎えていました。

華やいた街の表情を見るにつけ、人が失ったものを取り戻そうとする帰巢本能のような修正、修復力の逞しさを感じずにはいられません。震災によって大切な人を失い、その上に住む家までも失い、いくつもの困難に倒れそうになりながらも復活して行くその姿の近くにいつも花が咲いていたように記憶しています。裏通りの小さな公園から大きな球技場に至るまで、所狭しと建てられた殺風景な仮設住宅の出入り口にはヒマワリやヴィオラなどが頼りなげに、けれども暑さ寒さに負けずしっかりと咲いていました。

あの時以来、たくさんの自然災害に見舞われましたが、どの仮設にも小さな花の寄り添う姿がありました。

例年、年度の始まりである4月には、センター事務所前の老桜にまつわる文章をニュースレターである「新生紀」に書いて来ましたが、今年はその桜を見たような、見なかったような、確かに咲いていましたが記憶が定かではありません。そう言えば“神戸まつり”の前後に競うように咲くつつじやサツキも咲いてはいたけれど……。気づくといつの間にか枯れていました。

震災は、無機質な物を根こそぎ壊して行きました。が、コロナは瓦礫の山こそ作りませんでした。有機的な人の関係を自粛と言う名のもとに静かに壊し続けているように思えてなりません。コロナによって亡くなられた方々への追悼はもとより、そこから派生した思いもよらない様々な苦しみの中にある人々と共に人間性を取り戻さなくてはと思う初夏です。

“新しい生き方”とはコロナとの共存を意味するだけでなく、これまでに失って来た人の優しさ、単純さを見直す生き方であって欲しいと願う初夏でもあります。

みなさま、どうぞお大事に。

野宿者支援グループ

『春なのに』

まこと

暖冬のせいか、教会の庭に、いつもより早くいろいろな花が咲きだしました。でも教会には誰も来ないので、私一人、事務所で電話番をしながら、窓から見える花たちに、声をかけています。いつもなら「きれいね!!」とみんなが声をかけてくれるのに、少し寂しい春です。

暖冬のせいか、おじさんたちから毛布が欲しいという声もあまり聞きませんでした。無事に暖かい春がきたようです。でも彼らを取り巻く環境は厳しいことに変わりはありません。

新型コロナウイルスのせいで、炊き出しもできなくなりました。何かあると、いつも弱い人たちにしわ寄せが来ます。小野浜での活動は食事の提供だけではないのです。一人一人を大切に、決して一人ではないよと連帯を示し、絶望ではなく、希望を与える場でもあります。集団で集まれない、となるとそれが出来ません。少し悔しい春です。

夜回りも中止になりました。以前は百人を超える人たちと出会っていましたが、最近は多くても、三十人に満たない状態です。でも私たちを待っていてくれます。味噌汁を作りながら、彼らの話に耳を傾けます。あるおじさんは、声をかけると植え込みの奥から起きだしてきて、いろいろな話をしてくれます。正直、話の内容はよくわかりませんが、適当に相槌を打ちながら聞いていると、彼の顔に笑みが浮かんできます。おじさんの心に寄り添えた暖かい春をコロナに吹き消された、やりきれない気持ちがする春です。

お彼岸に、九州にある両親の墓参りに行こうと思って、久留米にいる妹に電話した。「あら、マコちゃんどうしたの」「うん、お彼岸に墓参

りに帰ろうと思うのだが」「来ないで頂戴！」ショック！「久しぶりね、気を付けておいでよ」そんな返事が返ってくると思ってたのに、コロナって怖いなとつくづく思った。久しぶりの田舎の春が消えた。

私の友達が、今度社長になるそうなの。町の小さな工場の社長とちゃいますねんで。日本を代表するような大会社だ。彼とは教区の生涯養成委員会に始まり、阪神淡路大震災後のたかとり教会でのボランティア活動で、いつも私のそばにいてくれた、かけがえのない友達です。ロボットを作る仕事で、世界中を飛び回っているそうです。去年の秋に会ったときは、医療ロボットの開発を手掛けているとのこと。ロボットが手術をするようになっていた。まさか社長とは思ってもよらなかったが、人の話を聞くのがとても上手な人だ。人の喜びを自分の喜びとし、人の悲しみを自分の悲しみにできる人だと思う。きっと、人の心を持ったロボットが生まれることだろう。「おめでとう」とメールをおくったら、「ほんにんもびっくりしてます」と返事が来た。ちょっとうれしい春だ。

「ふっこうのかけ橋 2020」の実行委員になった。みんなの足手まといになるかもしれないけど、頑張っている友の力になればと思いました。彼は、ある会議の場で、「ふっこうのかけ橋」はおしまいにしてはと言われて、「それはおかしい」と反発したそう。私もおかしいと思う。なぜ今、そういうことが言われるのか理解に苦しむ。「ふっこうのかけ橋」だけではない、活動センターにもいわれのない非難の声が聞かれる。見もせず、足を運びもせず、何を言うかと思う。私たちの活動は、まぎれもなく福音宣教なのだ。福音宣教とは街角で声を大にして、「神を信じなさい」と叫ぶようなものではない。私たちの生き方を通して神の存在を示すしかないのだと思う。少しだけ腹の立った春です。

先日（3月19日）前田万葉大司教が、性虐待、性暴力、ハラスメント防止の決意表明をだされた。メッセージの最後に、『神が一人一人に与えてくださった尊厳、特に最も弱い立場に置かれている人たちを守ることを決意いたします。』とあった。春一番に吹き飛ばされて絵空事で終わらなけりゃいいなと思った。

何やかやと悩ましい春です。コロナや、暴力、中傷に負けない神様の愛が、私たちの心に豊かにありますように。（4月6日付原稿）

*** 5/27 から夜回り再開！
6/2 から炊き出しなど再開！！**

<夜回り> 毎週水曜日 - 19:30活動センターに集合
(中央区・兵庫区エリアを4コースに分けて回ります)
※第1水曜日は勉強会で夜回りは休みです。



『 **口腔異常感症(舌痛症)** 』



ねこ永田

昨年夏、緑内障の手術をしてもらい、6か月が経過。観察中だ。当然だが、視力、視野は回復しない。眼圧は平均 17~18 mmHg なので、自分で満足し、ドクターもこんなものであろうと思っておられるのだろう。

自分では、藪の中をくぐり抜けたという安堵の気持ちだ。2月中旬、ヒマに任かせて、舌を使って、歯の探索をした。1本1本、奥歯の真中のくぼみ、犬歯のとがり具合。歯間がスカスカ空すぎていないか。この歯の異形は、歯の部分が欠け始めたか。指で歯肉を圧す。堅さをみる。高齢の割には、歯肉はぷよぷよでも、ぐにゃぐにゃでもない。が、この

歯の尖りはなんだ。そう、思いはじめたら、上下の奥歯、どちらかというとな上犬歯の2本横の歯が、尖りすぎていないか。かた〜い煎餅を、バリッと噛みくだいても、歯は痛くないのになあ。

歯のことを、すっかり忘却している時もあるが、歯科で診てもらえば、ホントの事が判ろうってもの。予約をとって、診察台へ寝た。

歯科医師との問答。こんばんは。舌でどの辺りに触って、痛むのですか。あちこち、舌で触ります。歯間が空きすぎとか、左下、噛み合わせた時、犬歯の2本奥の歯が虫歯か、と思います。どの歯も痛くありません。ピンセットで軽く叩いたり、歯間を見たりした医師が、補助の女性に、字を書く紙ある？とき、

- むし歯、歯周病なし。
- ろう舌癖
- 舌痛症悪習
- 口腔異常感症
- 女性・高齢者・マジメな人

と書いて見せてくれた。

詳細な説明をききながら、口腔の神経症か……。と自分の気持ちのヒマ加減と肝っ玉の小ささにあきれかえったが、もう一つ戸惑ったのが、先生の問이었다。いつも、舌の先を、どこにおいてますか。エッエッエッ？ じゃまにならない所に、こっそりおいているつもりだ・・・エッ？

前歯のつけ根の少し上側に置いて下さい。舌で歯をさわらないで。歯周病もなし。悪い歯はありません。でも、せっかく来たのだから、前歯のうらの歯垢をとっておきましょう。忘れましょう。歯のことは、舌を口の中で動かさないようにしましょう。舌は、前歯の少し上に置いておきましょう、と歯科医。

舌、舌、上前歯の辺りに舌をおく。つかれるっ。それから数週間後、自分の舌の先端は、しぜんのまゝ、前歯のつけ根におさまっていた。気付いたら、しぜんのまゝだった。

神戸地区社会活動委員会より

私と社会活動「10年を振り返って」

明石教会 岡 節子

2020年2月8日(土)明石教会で松浦神父様を講師にお招きして70名近い参加者のもと、フランススコ教皇の「ラウダート・シ」より「エコロジカルな霊性を」と題された「静修会」を開催し、無事終えることが出来ました。

私が神戸地区の社活の定例会に出席するようになったのは「東日本大震災」の前の年辺りからだったと思います。小教区の活動と共に定例会にも慣れ、他の教会の方々と身近な問題に取り組んでいました。そんな時あの「大震災」が起き、頭の中は真っ白な状態で、それでもシナピス神戸事務局からの要請に私なりに応えたと思います。当時、事務局は毎日のようにこの事態に対応され、メールを配信されていました。次の年の夏、第1回目の「ふっこうのかけ橋」が行われ、愛徳学園で行われたミサの準備を依頼され、明石教会からも応援をお願いし、滞りなく役目を終えることが出来ました。



そしてもう1つ忘れられない活動の1つとして「AOS(船員司牧)」があります。

ある年、訪船(船員訪問)を担当されていたシスターから、社活に訪船の依頼がありました。この活動は世界各国の港で働く船員の方々への奉仕であり、私たちの住む神戸では神戸港、摩耶埠頭に一定時間停泊している船に、新聞、雑誌、糸の帽子等を届け、コミュニケーションを計るというボランティアでした。元町にある「神戸マリナーズセンター」でその日訪問する船を伺い、ドライバーの方と一緒に船に向かいます。あの広い神戸港に停泊している船の中で指示された船を探すのは容易なことではありません。(もちろんその場所の地図はありましたが)。私たちと一緒に活動をして下さったドライバーの方はどんな時でも笑顔で、根気良く船を見つけて下さり、「あった、あった！」と共に喜んだものです。この活動をもとに、カトリック信者の宣教活動を支援する組織「JLMM」に入会されカンボジアに赴任された方がありました。



その後、有志で福島を訪問したのは震災から3年後の6月でしたが、震災の爪痕は生々しく被災状況の厳しさに唯々涙が溢れるばかりで、それでも仙台空港の草むらに咲く野の花に心が少し癒されていたことが思い出されます。その時「ふっこうのかけ橋」で出会った方々との再会は“生きる”ということの意味を改めて自分に問いかけていました。

このように10年間はあっという間に過ぎて行きましたが、いろんな経験をさせていただいた中で思ったことは、いつも神様からの力を感じ働かせていただいたということです。

教会の一步外に出て、他の教会の方々と触れ合うことはその方の生き方に感動したり、見聞きすることで自分の中になかったものを発見する良いチャンスでした。新年度からは今小教区と一緒に活動している方が、私の役を担ってくださいます。今後共、よろしくお願い致します。

(3月23日付 原稿)

～ お知らせコーナー ～

“ふっこうのかけ橋”

～福島こども支援プロジェクト～

8月に予定していた六甲山自然の家キャンプは新型コロナウイルスの影響のため来年夏に延期となりました。

来年のご協力参加を
よろしく願いいたします！

問合せ：カトリック社会活動神戸センター
078-271-3248 (やまの)



★寄付・賛助会について★

当センターの活動は皆様のご支援によって支えられております。今後とも当センターの活動にご理解をいただき、ひとりでも多くの方が必要な支援を受けられますようご寄付、または賛助会へのご加入をお願い致します。

◎一般寄付および賛助会員費の振込み先
郵便振替口座 00910-5-141408
「カトリック社会活動神戸センター」

※ 同封の払込取扱票は発送作業の都合上、すべての発送先に毎回同封されています。ご了承のほど、宜しくお願い申し上げます。

神戸地区社会活動委員会

★シナピス神戸より★

神戸地区のHP「つながり」のアドレスです。

<http://catholic-kobe.org/>

*センターの活動も紹介されています。

★物資倉庫より★

いつも物資提供にご協力いただき
ありがとうございます。

☆ 必要な物：

- ・夏物衣類（比較的新しい物）
- ・トランクパンツ（Mサイズ）、くつした（男性用新品）
- ・タオル、せっけん、T字型使い捨てかみそり、シャンプー（詰替え用）
トイレットペーパー、ポケットティッシュ（入居セット用）
- ・手洗い泡せっけん（詰替え用）
- ・食品用ラップ、紙コップ、割りばし（夜まわりのおにぎり、みそ汁用）
- ・蚊とり線香（夜まわり配布用）
- ・カップラーメン、レトルト、缶詰類など（現物支給用）
- ・スティックシュガー、お菓子など（YOUYOU、なかやまてカフェ用）
- ・切手（使用可能なもの）



※毛布・寝袋、タオルケットは
通年にわたって必要です。



* 特にお願い!!

マスク、手指消毒用アルコール、

泡ハンドソープ（詰替え用）

T字型使い捨てかみそり、紙コップ、

☆ 必要でない物：

- ・女性用と子供用・背広の上着、コートなどは需要がありません

*人手不足のため、受け取りに伺えませんが、ご了承ください。

★2019年度 年間活動報告(2019年4月～2020年3月) *3月の活動は一部休止)

＜野宿者・高齢者支援活動＞

	延べ人数 (前年度)	1回平均 (前年度)	総回数
1. 炊き出し利用者数	13,256	13,007	91
2. 夜まわり	888	1,000	24
3. 生活支援(入居支援含む)	2,920	3,239	8
4. 日中の支援			
シャワー	504	602	11
さんばつ	446	439	10
物資(衣類の提供)	177	165	4
医療相談	296	354	7
せんたく	757	947	6
5. 住宅、病院、施設訪問(訪問先人数)	329	399	2
6. 同行支援(役所、病院等)	57	135	1
7. 脇の浜茶話会(月1回)	345	318	31
8. なかやまでカフェ(月1回)	173	188	16

＜外国人支援(日本語でこんにちは)＞

	延べ人数 (前年度)	1回平均 (前年度)	総クラス数
日本語でこんにちは(クラス)	705	750	6
国際交流会 etc	58	55	58

＜中山手ミーティングYOUYOU＞

	延べ人数 (前年度)	1回平均 (前年度)	総回数
ミーティング参加者数	331	270	8

＜COME&SEE(体験学習)＞

	延べ人数 (前年度)	参加学校数 (前年度)	総回数
参加者数	123	129	6

*参加学校名：六甲学院 愛徳学園、神戸大学、啓明学院、和光高校、関西学院

＜ボランティア参加者数＞

	延べ人数 (前年度)	1回平均 (前年度)	総回数
1. 炊き出し活動	1551	1652	11
2. 夜まわり活動	281	300	8
3. 日中の支援活動	1291	1035	4
4. 脇の浜茶話会	72	83	7
5. なかやまでカフェ	22	24	2
6. 日本語でこんにちは	630	624	6

★2019年度 会計報告(2019年4月～2020年3月)

収入の部

科目	金額(円)	備考
寄付金	3,506,888	
指定寄付金	1,799,796	炊出し
会費収入	183,700	
行事収入	286,615	
雑収入	24,859	
合計	5,801,858	

支出の部

科目	金額(円)	備考
援助費	5,131,350	
旅費交通費	84,810	
通信費	477,074	
自動車諸費	278,632	
管理費	1,082,978	
その他	118,517	
合計	7,173,361	
繰越金	△1,371,503	

活動紹介 来て見て、参加して下さい！

新型コロナウイルスの影響で、休止や変更となることもありますので、
まずお問い合わせください。☎078-271-3248（*祝日は休み）



★高齢者、障がい者支援

主に高齢者、障がいのある方々への訪問活動やコミュニティ作りへの支援。レターボランティアによる交流をしています。

<活動日>

月曜日ー10:00～15:00頃

訪問（住宅・病院・施設）



*第3月曜日 13:00～*当分の間休止

HAT 神戸脇の浜にて『脇の浜茶話会』

水曜日ー必要に応じて

訪問（住宅・病院・施設）

★外国人支援

日本で生活している外国籍の方々と交流を持ちながら、日本語を学ぶ場の提供。
相談・関係機関への連絡・情報の提供等。
※NGO神戸外国人救援ネットとも連携しています。

『日本語でこんにちは』

<活動日> *当分の間休止

木曜日ー10:30～12:30&13:30～15:30

日曜日ー13:30～15:30

☆なかやまてカフェ

野宿から居宅に移った方のための集い。
（第2水曜日 13:30～15:00）

★★★★ ★★★★★ ★★★★★ ★★★★★ バックアップしています ★★★★★ ★★★★★ ★★★★★ ★★★★★

*新型コロナウイルスの影響で、
ただいま休止中です（6/1現在）。

AA アルコール依存症の方の自助グループミーティング
（火曜日 13:30～、水曜日 19:00～
土曜日 13:30～&19:00～）

家族の回復ステップ12 アルコール依存症者を家族や
友人に持つ方たちの集まりです。
（土曜 10:30～12:00 第5土と祝日は休み）

★野宿者支援

野宿したくない人が野宿しないで済むように。
今、野宿している人の人権がそこなわれないように。
可能な選択肢を提供し本人の意見を尊重しつつ
出来る限りのサポートをしています。

<活動日>

水曜日ー19:30～22:30頃

夜まわり（第1水曜日は勉強会）

火・木・土曜日

昼食提供（小野浜公園にて）

火曜日ー10:00～16:00

生活相談／洗濯

木曜日ー10:00～16:00

生活相談／洗濯／シャワー

物資提供／散髪（小野浜公園にて）

金曜日ー10:00～16:00

医療相談／洗濯

土曜日ー10:00～16:00

生活相談

月・水・金ー物資の整理・日中まわり

病院訪問（必要に応じて）

☆中山手ミーティング YOU YOU

自分をみつめ、自分の生き方を考える
仲間の集まりです。気軽にお越し下さい。
（金曜日 10:30～12:00）

FA ご家族や友人にアルコール、薬物、ギャンブル、
買い物、ゲーム、摂食障害等さまざまな依存症の問題を
持つ方のための自助グループ
（火曜 19:00～20:30 第1火は16:30～18:00）

NA 薬物依存症の方の自助グループミーティング
（木・金曜日 19:00～）

ナラノン 薬物依存症の人の家族のミーティング
（第2、4月曜日第14:30～）

編集後記 フランスのある経済学者で思想家の言葉です。「パンデミックと言う深刻な危機に直面した今こそ『他者のために生きる』という人間の本质に立ち返らねばならない。協力は競争よりも価値があり、人類は一つであることを理解すべきだ。利他主義という理想への転換こそが人類サバイバルのカギである。」「利他主義は合理的利己主義にはかなりません。自らが感染の脅威にさらされないためには他人の感染を確実に防ぐ必要があります。利他的であることは、ひいては自分のためとなるのです。また、他の国々が感染していないことも自国のためになります。」 パンデミックや温暖化・環境問題にしても、自国ファーストや利己主義ではこの地球を救えない。やはり地球は一つの家族であり、一部が痛めば体全体が痛み、大嵐がきたら船ごと転覆してしまう運命共同体です。最後になりましたが、本来4月末予定の新生紀のお届けがずいぶん遅くなってしまい、お詫び申し上げます。